

平成30年度組織編成の特色

○市民の暮らしに身近な分野、なかでも、福祉、子ども、安全・安心にかかる実施体制を強化

○都心部の機能強化や魅力あるまちづくりを推し進める体制を整備

○施策の推進等のために178人を増員する一方で、民間活用の推進や既存組織の最適化などにより181人を減員 ※1を対象

○総定員…17,136 (H29比 +138)
(参考)旧県費負担教職員を除く職員数 ※1
… 9,729 (H29比 ▲3)
○組織数(係以上)…2,667 (H29比 +1)

生活の質の向上

健康・医療・福祉

★超高齢社会に向けた施策の推進(+4)

移動・買い物支援や福祉人材の確保など、超高齢社会に対応するための施策を推進

★認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの推進 (+4, 嘴+4)

認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及拡大やICTの活用等に取り組み、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進

★「福岡100」プロジェクトの推進 (+1)

福岡ヘルス・ラボの本格実施をはじめ、人生100年時代を見据えた、産学官民オール福岡による「福岡100」の推進体制を強化

★精神障がい者の退院後支援の充実(+7)

措置入院者等の退院後支援計画作成や、医療機関等との連携による地域生活への移行に向けた支援体制の強化

子ども

★社会的養護の推進(+1, 嘴+1)

児童福祉法改正に伴い、今後の社会的養護に係る方向性の検討や支援体制の構築等を総合的に推進

★こども総合相談センターの体制強化(+4)

児童虐待の未然防止や早期介入、社会的養護が必要な子どもたちの支援に係る体制を強化

★母子保健業務の執行体制強化(+7)

乳幼児の発育・発達や妊産婦の心身の状況等に応じた支援に係る体制を強化

★医療的ケア児の保育支援の充実(嘴+2)

公立保育所に看護師を配置し、集団保育が可能な医療的ケア児の受け入れをモデル的に実施

その他

★Society5.0(超スマート社会)の実現 (+2)

IoTやAIを実装する先進的な提案等を受け入れ、支援するワンストップ窓口の設置や、官民データの活用推進により、社会課題の解決等を促進

安全・安心

★防災先進都市づくりに向けた体制強化

(+1, 嘴+2)

行政・市民・企業が連携した共創による防災先進都市づくりや九州が一体となった防災先進地域に向けた取組みを推進

★機動救助隊の創設

中央区の消防署所再編にあわせて機動救助隊を創設し、大規模災害や特殊災害等に、より的確に対応

★地下鉄既設線の検査体制強化 (+1)

安全に列車を運行するため、土木構造物の検査体制を強化

教育

★スクールソーシャルワーカーの増員(嘴+42)

地域や関係機関と連携しながら、課題を抱える子どもや保護者などを支援するスクールソーシャルワーカーを大幅に増員し、全中学校区への配置を実現

★部活動指導員の新設 (嘴+73)

単独での技術指導や引率等が可能な部活動指導員を新たに配置し、部活動指導体制の充実を図るとともに、教員の負担を軽減

★次期教育振興基本計画の策定 (+1)

教育政策の指針となる次期計画の策定のための体制を強化し、新たな課題に的確に対応

★学校教育の充実 (+1)

新学習指導要領や小中一貫教育の実施に向けた体制を強化し、学校・地域の特性を踏まえた効果的で特色的ある教育を推進

★特別支援教育の充実 (嘴+4)

- ・増設される特別支援学級に介助等を行う嘱託員を配置し、児童一人一人に対しきめ細やかな教育を実施
- ・特別支援学校に医療的ケアを行う看護師を増員し、保護者の負担等を軽減

★「一人一花」運動の推進(+1)

市民・企業みんなで花と緑を育てることで、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる「フラワーシティ福岡」の実現に向けた取組みを推進

都市の成長

まちづくり

★ウォーターフロント再整備の推進 (+6)

「クルーズ」「MICE」「賑わい」が融合した一体的なまちづくりに向け、官民が連携した再整備を推進

★博多旧市街プロジェクトの推進(+2)

歴史・伝統・文化を活かした、博多部エリアの魅力づくりやまちなみ整備を推進

産業振興

★グローバルスタートアップの推進 (+1, 嘴+1)

国際的なビジネスマッチングイベントの開催など、市内スタートアップの海外展開支援を強化

★国際貢献を通じたビジネス展開 (+1)

海外からの研修員受け入れや技術協力など、下水道分野の国際貢献や地元企業のビジネス機会の創出及び獲得に向けた取組みを推進

国際・観光・MICE

★世界水泳選手権の開催準備(+7)

2021年の世界水泳選手権福岡大会の開催に向けた体制を強化

★ラグビーワールドカップの開催準備(+4)

ラグビーワールドカップ2019の開催に向け、福岡開催推進委員会事務局の体制強化及び(公財)ラグビーワールドカップ2019組織委員会に職員を派遣

★アジア太平洋都市サミットの開催 (+2)

平成30年8月に福岡市で開催するアジア太平洋都市サミット市長会議に係る体制を強化

★屋台の魅力向上等の推進(+2, 嘴+2)

屋台の魅力向上や次回公募手続き等に係る体制を強化

★クルーズ船受入業務の体制強化(+1)

クルーズ船の受入環境充実に向けた体制を強化

その他

教職員

★教職員の定数増(旧県費負担教職員)

(+141)

児童生徒数の増加等に対応するため、教職員を増員

○市立幼稚園の閉園 (▲19, 嘴▲4)

民間活用の推進

○ごみ収集運搬業務の民間委託 (▲15)

○小学校給食調理等業務の民間委託

(▲9, 嘴▲13)

○地下鉄空港線福岡空港駅業務の民間委託

(▲7)

外郭団体等の見直し

○派遣体制の見直し (▲4)

執行体制見直しにより派遣職員を一部引上げ
・福岡市住宅供給公社
・博多港開発(株) など

技能労務職の体制見直し

○ごみ収集運搬業務の民間委託 (▲13)

○小学校給食調理等業務の民間委託 (▲9)

○学校環境整備等業務の執行体制見直し(▲7)

<一部再掲>